

京丹後市学校再配置基本計画(素案)説明会

- 1 開催日時 平成 21 年 7 月 9 日 (木) 午後 7 時 35 分～午後 9 時 50 分
- 2 開催場所 京丹後市立豊栄小学校 体育館
- 3 出席者 中山市長、米田副市長、大下副市長、米田教育長、藤原財政部長、渡部企画総務部長、高橋教育理事、藤村企画政策課長、石嶋市民協働課長、木下丹後市民局課長補佐、栗倉教育総務課長、増田学校教育課長、山下学校教育課長補佐、坪倉教育総務課主任、長尾指導主事、中島学校教育課主任 計 16 名
地元出席者 90 名

報道 毎日新聞・京都新聞・読売新聞

4 内 容

- (1) あいさつ
- (2) 資料説明 ①京丹後市学校再配置基本計画 (素案)
②京丹後市立学校施設の耐震化計画 (素案)
- (3) 質疑応答

5 要 旨

市長あいさつ、京丹後市学校再配置基本計画 (素案) 説明、京丹後市立学校施設の耐震化計画 (素案) 説明 省略第一回目を参照。

質疑応答

(市民協働課長) これより意見をいただきしたいと思います。発言者の方は挙手いただき、さしつかえなければお名前をお願いします。

(出席者) 区長宛てに案内状が来ました。会場が和室で狭いと思っていたが、来たら体育館でした。でも椅子がこれだけしかない。参加者を読み違えているのではないですか。豊栄小学校の皆さんの気持ちを読み違えないようお願いしたい。説明会の目的ですが、素案について住民の理解を得るためなのか？素案とは辞書によると練った案とあるが、素案に対して住民の意見を聞いてやるのか、正確に教えていただきたい。

(市長) 本案に対しては教育委員会が作り、パブリックコメントを通して教育委員会の素案として議会に出した。計画の中で住民の理解を得ながら進めていくことと、われわれの案として考えているが、住民の不安や必要に応じて調整しながら議会に説明していきたいと思います。

(出席者) 一週間前にこの日を設定したのか教えてほしい。再配置に関する意識

調査をした結果を報告したいと思います。保護者に報告する前ですが、お許し願いたいと思います。

統合することは知っていますかの問いに 100%が知っている。統合することに賛成 13%反対 54%どちらでもない 33%。保育所の保護者に問いました。統合することに賛成 5%、反対 70%、どちらでもない 25%。賛成のコメントとしては、子どもの数が減り、行事、役員等が大変である。反対としては通学距離が遠い、見晴らしもよく自然豊かな場所なのに廃校はさびしい。どちらでもない意見としては、市の財政を考えると止むを得ないとも思うが、6町が合併し財政が豊かになると聞かされたが、反対に予算が無くなっている。スクールバスを走らせる等財政的に増加する面もあるがどうなるのか。

(教育長)日程、時間が少ないことは申し訳ない。少しでも早くやろうとした結果だと理解がお願いしたい。

(市長)6町合併して確かに厳しい状況にあるが、合併しなかったことを考えれば豊かである。合併したので130億の交付税が入るが、合併していなかったら100億ぐらいであった。合併していない市町村が苦しい状況にある。子どもたちにとってどういう教育環境がいいのかを優先する観点で考えている。耐震を除けば、財政的な話からではなく、規模の問題からと思っている。

(財務部長)スクールバスについては、現時点でバスの大きさや運行距離など決まっていないので、数字を算出するのは困難な状況であり試算していない。スクールバスは普通交付税として1台600万円程度財源措置されているので、それほど大きな負担になるとは考えておりません。

(出席者)豊栄小学校に保護者として9年間かかわってきた。丹後町の教育委員会にもかかわってきた。環境的に間人小学校に統合は疑問。豊栄小学校はパイロット校で地域、保護者で頑張ってきた。また、なぜ間人小学校なのか？通学距離など考えれば、位置的に考えれば黒部小学校を考えた統合もあるのでは。過疎化等から黒部小学校を視野に入れれば豊栄小学校に来るべきではないか。机の上で考えているだけでは疑問。

(教育長)なぜ間人小学校なのか。それは再配置を考えた時、地域性を考え、旧町域を超えないことを基本とした。丹後町としては、宇川小学校は距離的に残し、間人小学校は児童数、建物等考え選んだ。

(出席者)昭和56年には11,179人が平成20年には5,804人となっているが、企業誘致など、若者の人口増加に努力してからでもよいのではないかと？

(市長)当然企業誘致等努力していかなくてはならないが、子どもたちが増える見込みで再配置を進めるのは厳しい現状がある。今住んでいる子どもたちのことを考えれば仕方ない状況である。

(出席者)再配置第2案ができないのですか？

(教育長)平成27年にはひと桁のクラスができる。適正規模を考えると理解してほしい。

検討委員会では竹野小学校が間人小学校へ行くことが強いことから間人小学校へ。竹野小学校は豊栄につきたいという意見が多かったように思う。

竹野小学校区は間人保育所に通っているなので早急に統合してほしい。

豊栄保育所が無くなってさびしい。

(出席者)10人前後、9人でもよいのでは。現在豊栄小学校は本当にいい規模である。10人前後で良いと思う。今、平成26年統合は早いと思う。竹野小学校のように少人数になったら仕方がないが。本当になごやかで良い学校である。運動会でもひとりひとり名前を呼ばれ良かった。20人なぜ必要かわからない。少人数でも競争はある。これぐらいの規模で良いのでは。落ち着いた環境であたたかい気持ちを持たせる学校である。

(教育長)その通りですが、大規模校とはちがうが、男女比が極端になるという意見や、クラス対抗ができる人数が最低望まれる。20人を目標とするが20人にならないところもある。ある程度人数がないとできないこと(サッカーや野球など)もある。

(出席者)小学生と保育所2人の母親。豊栄小学校へのびのびと通っている。縦割りなどこの人数だからできるし、先生が目が届いている。30分かかって通学しているが道草など、大変大きな経験となっている。10人切るクラスがあるが、5年後の統合は早いと思います。

(出席者)スクールバスで通学だと、地域の中で子どもの顔が見えなくなる。あいさつができなくなる。地域の中で子育てができなくなる。保育所、小学校、中学校と一緒に顔触れになる。中学校で新鮮味がない。まだ小学校では競争はしなくてもよいのでは。

(教育長)小学校、中学校と一緒にいるが、クラス替えができる。コミュニケーション能力も体験できる一定の規模である。

(出席者)中山市長は地元の意見を聞かない。こうしますと強制的にやっている。2月に統合の話を知った。説明会もない。教育委員会が説明をするべき。決まったことしかない、ルールにひかれている。1人が言ったことを皆が言ったようにしている。耐震全部やります。平成26年にどうしてもしなくてはならないことか？9月に議会に出そうとしている。今日はこの説明会を実施して、了解をもらったということで進めようとしているのが見えている。

(市長)地元の意見を聞くのは大切だと思っているが、充分でないところは反省している。子どもたちには地域の大人が愛情を持って一緒にやっていけること

が大切だと思っている。再配置の内容についても市からではなしに分科会で地域の人々に考えていただいて、検討委員会にだしていただいたことであり、パブリックコメント、説明会、9月議会は目標でありこだわってはいない。調整が必要と考える。

(出席者)分科会は都合のよい人を集めている。区長など地元を代表する人の意見を聞いてほしい。

(出席者)市長は子どもたちの為にといいながら、大人が考えているだけではないか？目先のことしか考えてないのでは？

(市長)学校は子どもたちのための施設であります。学校のあり方を考えるときいろいろな意見がありますが、勉強、通学距離、クラス、先生の配置等さまざまな教育活動ができるということから、いろいろな個性、経験、中規模、大規模、同時に小規模の良さもあると思います。それぞれにプラス面、マイナス面があるが、その中で子どもたちのことを考え20人を下らない方が良いと思っている。

(教育長) 大人が考えた案というご指摘がありましたが、平成19年7月、検討分科会の委員さんをお願いする際に、子どもさんをもっておられる方を中心に委員になってもらい、事務局からの方針入れずに議論していただきました。

(出席者) 3点聞きます。小規模校の教育上のデメリット。20人程度の学校と10人程度の規模による学力差はあるのか。小規模による中一ショックはあるのか。

(教育長) 小規模のデメリットについて、毎年指導の重点、小規模校の方針、複式学級の場合、スクールサポーターを付けている。規模による学力差はあるのかについて、ないです。テスト結果は公表していない。小規模による中一ショックはあるのかについては、現在は聞いておりません。

(出席者) 学校規模とは？小規模校の良いところがあるといいながら資料がない。小規模校、大規模校のテスト結果による学力の差は。20人の根拠。数字だけ歩いている。世界の小学校の規模、将来の規模。

(教育長) 良いところは指導が丁寧にできるところでは。その中で中規模校だからできる球技などできたら良い。世界では44人、40人、20人いろいろである。条件など違いがある。20人程度の規模でやっているところもある。

(出席者) その程度のレベルですか。20人程度と決めたのは。

(教育長) 子どものため、野球やバレーなど人数がそろわないとできないスポーツ等があるから、京丹後市の実態も踏まえて考えている。

(出席者) 子どものために野球、バレー、サッカーができるようになって指導要領に書いてありますか。子どもたちのために学校どうしで何かするとか、少

年野球やサッカー教室等で集団的な競技もできています。もう一点、尊重したといわれる検討分科会の意見について、3月23日地域で主催し、説明を受けた際に、検討分科会に参加した委員さんから、分科会では存続と言ったのに、検討委員会では統合となっているのはどういうことか。という意見がありました。そういうところに路線を決めて引っ張っていく、それがなってないと思います。素案の説明会。9月議会に素案どおり提出では。

(市長) 素案を大切にこれを説明したいと思っている。意見を伺いながら必要な調整をしていかななくてはならない。

(出席者) 変更はあるのか？

(市長) 必要があれば必要な調整を行う。

(出席者) 学校の統廃合は仕方ない部分がある。旧丹後町を超えてしてほしい。地域の意見を聞いてほしい。

(出席者) 検討委員会を経てきている。議会にかけようとしているのはどうか。地方分権をどう考えているのか。なぜ急ぐ必要があるのか。基本的な問題だと思っている。

(市長) 学校の問題について、地域の皆さんが考えていくことが必要だと思っている。行政が青写真を書いてもいいけない。器をどう作っていくのか。行政の基本として地域の皆さんで考えていただきたい。1年間議論していただいた。積み重ねていただいたと思っている。そういったことから行政案を出した。

(出席者) 資料2 ページ(4)の②計画内容は、地域の中での学校の役割や通学距離、通学路の安全確保等に十分配慮し、保護者、地域住民の理解と協力を得られるものであること。現在豊栄小学校を残してほしいという署名が833名分集まっている。ぞくぞくと集まっている。十分意見を聞いてほしい。議会への提出について、耐震は8カ月かかる。8/25 締切だが、素案を練り上げてほしい。9月議会へ提出はいかがなものか再検討いただきたい。

(市長) 9月議会にこだわってはいないが、出せるものがあれば出していきたい。

(出席者) 市長さんがせっかく来られているので、学校の統廃合とはあんまり関係ないですが鳥獣対策をしっかりとお願いしたい。もっと目に見える効果のあるものがほしい。

(市長) どの集落からも聞いている。予算も付け対策を講じている。

(出席者) 子どもたちのためといわれるが、子どもたちの意見を準備していますか。自分の子どもに聞くと、「豊栄小学校が無くなったらいやだ。丹後保育所に通っているが、楽しい。豊栄小学校に行きたい」と言っている。

(教育長) 小規模校ではできない、中規模校の大切さをさまざまな経験で、教育の大切さを考えている。小規模校を否定するものではない。

(出席者)ある講演で、小規模校の勉強をしました。小規模ほど心が大規模で人間関係がいい。こういう小学校を残してほしい。

(出席者)分科会の内容がすり変わっている。少なくとも豊栄小学校は存続でまどまっていたはず。豊栄小学校関係の検討分科会委員に濡れ衣が着せられている。分科会では10人以下で複式学級ができたなら考える。10年後を見据えて考えるということだったが、平成26年に言葉がすり変わっている。

(教育長) 最終報告の記録から聞いている。

(出席者) 地方自治、府民税、市民税などの仕事をしておりますが、地元の振興、市民のことを考えるとあつて当然の意見だと思いますので、議会理事者等で更に検討する必要があると思います。

閉会 21時50分